

おにぎり通信

2013年10月26日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

今日10月26日は原子力の日です。今から50年前の1963年、茨城県東海村の試験炉で日本で初めての原子力発電に成功したことによっています。

その東海村村長の村上達也氏が先月の退任のあいさつで次のように語りかけています。「私は〈金のために魂を売ってはならない〉と皆さんに言ってきたが、(中略)政府の決定を待つことなく、原発に依存しない町づくりを考えていくときが、すでに来ている。それが地方自立、人と環境重視の当然の帰結。去るべきときがきた。この遺言を私の最後の仕事にしたい」

うんざりするような雨の日がつづいています。体調は大丈夫でしょうか。具合が悪いときには、どうぞ遠慮なく声をかけてください。

◎ 10月15日 福祉行動

どなたもお見えになりませんでした。

次回の福祉行動：10月28日(月)。東京駅丸の内北口地下・

喫煙所脇の車輪のところに朝8時30分までに集合です。

病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグ

ナチオ生活相談室」まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原

則として毎週月曜日です。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身

の希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

もより ふくしじむしよ
最寄の福祉事務所ほか

ちゅうおうくふくしじむしよ ちゅうおうくつきじ ちゅうおうくやくしよ かい
中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

ちよだくふくしじむしよ ちよだくくだんみなみ ちよだくやくしよ かい
千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

せい せいかつそうだんしつ ちよだくこうじまち せい きょうかいない
聖イグナチオ生活相談室・千代田区麴町 6-5-1 聖イグナチオ教会内

え どじだい もくじきしょうにん ひと ひんこん
江戸時代に木喰上人（1718～1810）という人がいました。貧困と
さいがい くる どうじ かくち ひとびと なや き きゅうさい ねが こ
災害に苦しめられた当時、各地で人々の悩みを聞き、救済の願いを込め
ぶつぞう ほ ぶつぞう やさ え う
て仏像を彫りました。その仏像には、優しい笑みを浮かべたおだやかな
ひょうじょう かずおほ もくじきしょうにん つぎ うた
表情のものが数多くあります。木喰上人は次のように詠っています。

ひと ころろ まる まる まる
[みな人の心を丸く まん丸に どこもかしこも丸く まん丸（中略）
ひと ころろ ひと
みな人のすがたかたちは みゆれども 心のすがた みる人もなし]

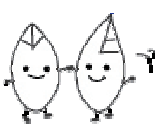
ずずかし たいおうじ こうづきたいりゅう ふくじゅうしょく つぎ い
鈴鹿市の泰応寺の上月泰龍副住職は次のように言っています。

もくじきしょうにん ほ ぞう ほほえ う
「木喰上人が彫った像のように微笑みを浮かべ、い
ことば ふしぎ
たわりの言葉をかけるようにしていると、不思議と
ころろ やわ ころろ やわ なに
心が柔らかくなってきます。心が柔らかければ、何
かにぶつかるようなことがあっても、相手を傷つけ
あいて きず
ませんし、自分も傷つくことはありません。このよ
じぶん きず
うに柔らかくなった心を《柔軟心》と言います」。



さい こ さくひん み ほほえ ぶつぞう おお
83歳を超えてからの作品に見られる微笑みの仏像。おそらく多くの
ひとびと い ざま み つつ え
人々の生き様を見たことで、すべてを包みこむようなあのおだやかな笑み
ひと なみ かど かど ふ きず いた
にたどりついたのでしょう。人の波にもまれ、角と角が触れて傷ついて痛
し すこ まる もくじきしょうにん ぶつぞう やわ まる あたた
みを知り、少しずつ丸くなる。木喰上人の仏像のような柔らかく丸く温か
えがお い ねが
な笑顔で生きていけたらと願います。

おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ
ばこ い かたづ ぎょうりよく ねが
箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは
ひ ひ め あ くだ ひとり おお かた め
かならずその日のうちにお召上がり下さい。一人でも多くの方に召
あ ひとりいっこ ねが
し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。



四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：090-4959-0652 岩田
れんらくさき いわた